

指定管理者更新に係る検証シート

1 施設及び指定管理者の概要

施設名	とべ動物園	施設所管課	土木部道路都市局都市整備課
設置年月日	昭和63年4月1日	耐用年数	50年
現指定管理者名	公益財団法人 愛媛県動物園協会	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成18年4月～平成21年3月(3年間)、第2期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第3期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

2 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

	平成17年度 (制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	463,644 人	460,308 人	454,888 人	357,693 人	356,479 人	462,171 人 (276,436 人)
対制度導入前年度比			98.1 %	77.1 %	76.9 %	99.7 %
対現指定期間前年度比			98.8 %	77.7 %	77.4 %	100.4 %

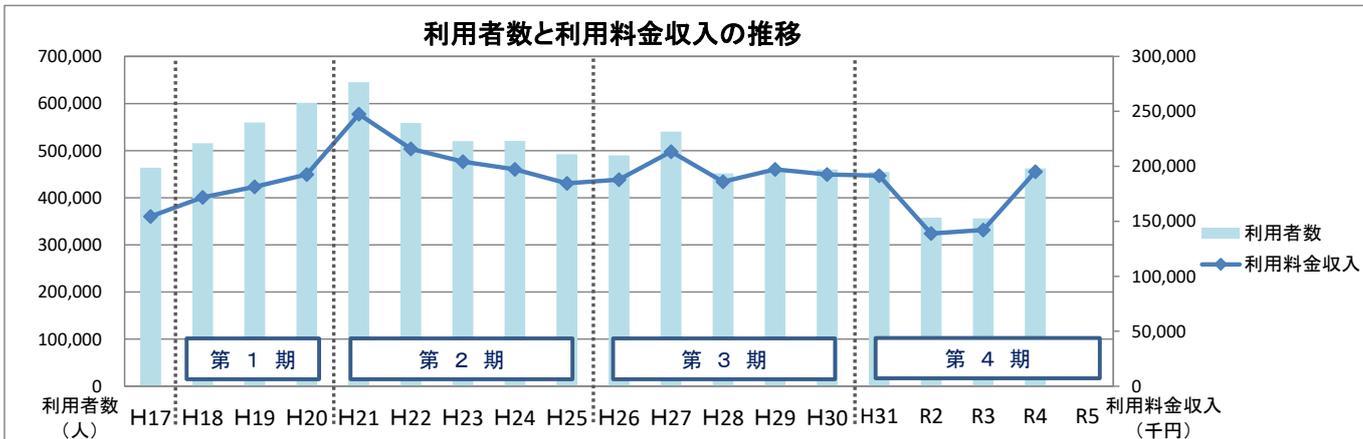
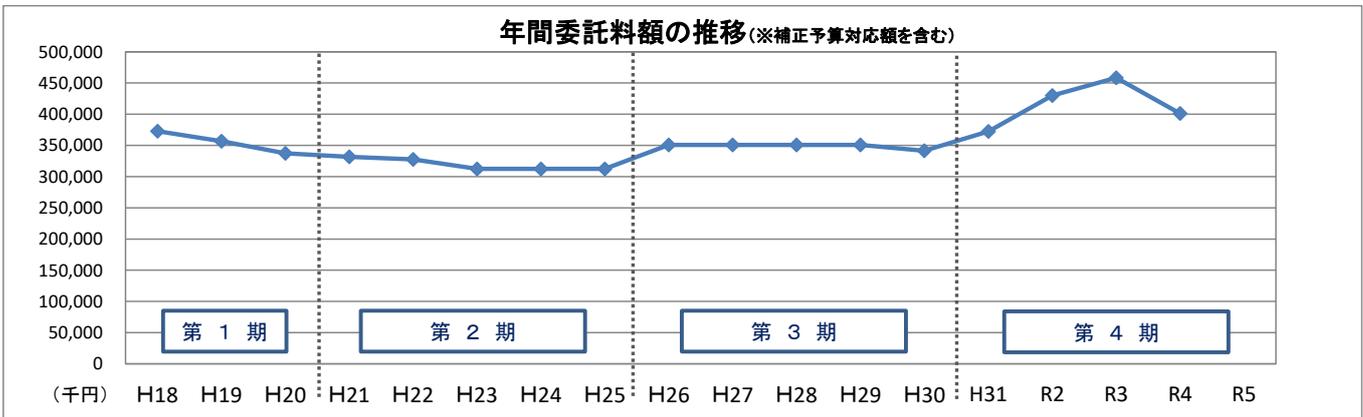
(※) 令和4年度については、上段に年間見込数を、下段()内には令和4年10月末までの実績数を記載。

(2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収(入)	574,772 千円	577,654 千円	624,756 千円	676,839 千円	686,715 千円
委託料	341,388 千円	372,383 千円	371,212 千円	371,212 千円	371,212 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	— 千円	58,701 千円	87,238 千円	29,874 千円
利用料金収入	192,663 千円	191,602 千円	138,886 千円	142,223 千円	195,155 千円
その他の収入	40,721 千円	13,669 千円	55,957 千円	76,166 千円	90,474 千円
支(出)	617,392 千円	600,718 千円	599,113 千円	679,310 千円	702,731 千円
収(A) - 支(B)	▲ 42,620 千円	▲ 23,064 千円	25,643 千円	▲ 2,471 千円	▲ 16,016 千円

(※1) 令和4年度については見込み額を記載。

(※2) 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載



(3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

○獣舎用冷暖房温度の設定温度の再徹底やデマンド監視装置の設置運用、プールの水換え頻度の検討、こまかなスイッチの切替えを実施
 ○消耗品費、業務用品及び飼料は、業者間の競争を促すため、極力まとめて購入する。特に、消耗品については、係ごとの予算制の実施
 ○業者への委託分のうち、汚水処理については、協会職員が一部管理に携わり現場作業の補助を実施することにより、人件費分を削減
 ○植栽管理について、一部の機械除草及び灌水、施肥、芝生地管理等、専門的な技術を要する部分は業者に委託し、園内獣舎周りの除草等の軽作業は協会職員が実施

(4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

○魅力あるイベントの実施及び充実（夜の動物園の開催や動物の誕生会の実施等）
 ○移動動物園や講師派遣等による動物の知識及び愛護思想の普及活動
 ○年間パスポートや各種割引制度、コンビニでの前売り券販売等の入園料金のサービス
 ○とべもり（こどもの城・総合運動公園）施設との駐車料金の連携サービスやジップラインの運行に伴うこどもの城での動物園入園券のセット販売

(5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取組み

○園内各所に消毒液や体温計を設置するとともに、感染状況に合わせてイベントの実施方法や回数等の見直しを図ることで、公園管理者として基本的な感染防止対策の徹底に努めた。
 ○ホームページ、フェイスブック、メルマガ、ツイッター等を活用した情報発信や、YouTubeを活用した誕生日イベント等の生配信の実施等、インターネットによる効果的なPR活動を行った。

3 次期更新に向けての評価等

(1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

利用拡大の観点から （利用者数、利用料金収入）	動物園は屋外施設のため気象動向や鳥インフルエンザ等の影響を受けやすく、年度によっても変動が大きいことに加え、第4期（H31～R4）は新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休園やイベント縮小を余儀なくされたことで入園者数の落ち込みが見られたが、指定管理者制度導入前の平成17年度と令和4年度を比較すると、ほぼ同水準まで回復している。 料金収入については、入園料を値上げしたこともあり、平成17年度と比較して3割程度増加している。 また、隣接するえひめこどもの城、総合運動公園と連携し、とべもりエリア全体の交流拡大を狙ったイベントを展開し、利用者数の増加を図っている。
効率化の観点から （経費削減）	植栽等の外部委託の契約内容を精査の上定期的に見直すことで、施設の維持管理経費を削減するとともに、光熱水費の節減に努めている。 また、イベントの手伝いや環境美化作業、ガイドでボランティアを積極的に受け入れるとともに、県民や企業から寄附を募り動物の飼料代に充当する等、経費削減に取り組んでいる。
利便性の観点から 県民サービス向上の観点から	ホームページの充実、SNSの活用、ポスターやチラシの配布等によりイベント情報を提供するほか、年間パスポートやコンビニでの前売入園券の販売により、連休や夜の動物園等のイベント開催時の混雑緩和に努めている。 また、介護老人保健施設や小学校への移動動物園、ふれあいキャラバン隊による小動物とのスキンシップ等を通じて県民から愛される施設づくりに努めている。
その他の観点から （前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況（広告事業等）、その他協定の履行状況など）	園内の危険箇所を総点検するとともに、年1回実態に即した訓練を実施するなど、利用者の安全性の確保に努めている。 園内バスの中吊り広告の実施や来園者配布用パンフレット及び園内スタンプラリー用紙を利用した企業広告の募集等により、収入確保に取り組んでいる。 大手商業施設でPR活動を実施したほか、ポスター・チラシを県内のコンビニ各店舗に設置する等、利用促進に向けて取り組んでいる。

(2) 次期更新に向けての方針及びその説明

とべ動物園は県民の憩いの場、やすらぎの場であるだけでなく、動物の生態や環境について学習する場としての役割を果たしており、動物の飼育・展示に関する専門的な知識と経験が必要である。
 また、施設の利用促進と収益の確保を図るためには、民間のノウハウを活用して効果的・効率的な管理運営が求められることから、指定管理者制度を継続したい。